

4/17~23 やすらぎの今宮君の報告です!

「宮城野の里、災害ヒナン処”まるふく” 支援報告①」

2011,4,17~2011,4,23 まで仙台に行ってきました。仙台までは距離にして約 600km 車で約 8 時間弱かかりました。

まるふくとは……

学校や公民館に作られた避難所での生活も限界があります。また、予算の関係で避難所の閉鎖も増えてきているのが現状です。そんな中で、介護を必要としている方たちが中心に集まり、また全国からやってきた支援者によって成り立っているヒナン処です。

まるふくに集まる方たちは、家に帰れない方たちです。具体的には、津波が自宅が 2F まできて全没してしまった方、地震の影響で自宅が傾いたり、津波がきて 1F 部分が流され 2F 部分は何とかまぬがれたものの危険で自宅に住めない方たちなどです。

利用者は認知症があったり持病があったりしましたが、自立している方がほとんどで、会話も通じ皆暖かい方ばかりでした。中にはご夫婦でヒナンされている方もおり、ヒナン者 17 名のうち 3 組がご夫婦でした。

ケアハウスの食堂の空間を借りて、ベッドや毛布・衣類を支援物資などを利用しそれぞれ生活しています。



宮城野の里 外観



夜のミーティング



まるふくの様子

支援者の使命とは……

- ① まるふくで暮らす方々を守ること
住環境の整備。食事の準備。トイレ時に見守り・一部介助を有する方の援助。
- ② 宮城野の里内にある、デイサービスやショートステイの手伝いなど
まるふく利用者も介護度に関係なく希望があればデイサービスを利用されていました。
日数などの制限はありましたが…

つづく……